

一般的名称 : 低周波治療器
JMDNコード : 35372000
管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

保証書付



PHYSIO ACTIVE HV

フィジオアクティブHV

取扱説明書

ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも読めるところに保管してください。

目次




安全上の注意.....	1
仕様.....	8
付属品一覧.....	9
各部の名称.....	10
使用場所および配線方法.....	16
電池での使用.....	18
ご使用方法.....	20
本体設定.....	24
プログラム設定.....	26
波形.....	29
記憶機能.....	30
異常検知.....	31
安全装置.....	31
その他機能.....	32
粘着導子.....	33
シューティング導子.....	35
手入れと管理.....	38
修理を依頼される前に.....	41

安全上の注意




ご使用前に、必ずお読みください。

この取扱説明書、フィジオアクティブ HV および付属品には本治療器をお使いになる方と周りの方への危害、財産への損害を未然に防止するための図記号を表示しています。以下の内容をご理解いただいたうえで本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

危険、警告、注意について

	危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。 物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。



図記号について

	△記号は注意(警告、危険を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や図で示します。左図の場合は“特定しない一般的な注意、警告、危険”を示します。
	⊘記号は禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や図で示します。左図の場合は“分解禁止”を示します。
	●記号は強制(必ず守ること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や図で示します。左図の場合は“特定しない一般的な使用者の行為”を示します。







本治療器および付属品への図記号

	<p>BF 形装着部 電撃に対する保護の程度が BF 形装着部であることを示します。</p>
	<p>出力部 この図記号を表記している部分が出力部であることを示します。</p>
	<p>電撃に対する保護の形式がクラス II 機器であることを示します。</p>
	<p>直射日光遮へい 粘着導子を直射日光から遮へいしなければならないことを示します。</p>
	<p>温度制限 粘着導子の温度制限を示します。</p>
	<p>使用期限 粘着導子の使用期限を示します。</p>
	<p>ロット番号 粘着導子のロット番号を示します。</p>










⚠ 危険

<p>医用電気機器の作動に妨害を与える恐れがありますので、下記に示す機器との併用はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● ペースメーカーなどの植込み型医用電気機器● 人工心肺などの生命維持用医用電気機器● 心電計などの装着型医用電気機器● その他の医用電気機器	
<p>本治療器は、「経皮的に鎮痛及び筋萎縮改善に用いられる神経及び筋刺激を行うこと。」を目的とした低周波治療器です。それ以外の目的には使用しないでください。</p>	

⚠ 警告

<p>下記のような方へは使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 妊産婦および妊娠している可能性がある方● 適用部位およびその周囲の皮膚に損傷、炎症、その他異常のある方● 紫斑病など、内出血しやすい方● 悪性腫瘍のある方● 心臓に障害のある方● 知覚障害のある方● 金属アレルギーのある方● その他医師が不相当と判断した方	
<p>医師もしくは医師などから指示を受けた方以外は使用しないでください。 重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>短波治療器やマイクロ波治療器など、電磁波を発生する機器の近くでは使用しないでください。 重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>電気メス(電気手術器)と併用しないでください。 火傷を負ったり、本治療器に損傷を与える恐れがあります。</p>	
<p>胸部付近には使用しないでください。 心細動の誘発など、心臓に重大な事故やトラブルを起こす恐れがあります。</p>	
<p>水やジェルなどで濡れた手での操作はやめてください。 感電など、重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	

⚠ 警告

<p>本治療器の付属品以外は接続しないでください。また他の製品に流用しないでください。 重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>粘着導子を使用する際、その粘着面に粘着力の低下や乾燥などの劣化が見られた場合は使用しないでください。 過度の刺激を受けたり、火傷を負う恐れがあります。</p>	
<p>導子は治療部位に正しく装着してください。その際、導子同士が接触または重ならないようにしてください。 過度の刺激を受けたり、火傷を負う恐れがあります。</p>	
<p>低周波の出力を上げるときは、ゆっくり上げてください。 急激に上げると過度の刺激を受けます。</p>	
<p>治療中、過度の刺激を感じた場合には申し出るよう、患者に伝えてください。 火傷などを起こす恐れがあります。</p>	
<p>地震、雷、停電のときは、ただちに使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いて、操作スイッチや表示に異常がないか確認してください。 故障や誤作動の原因となり、重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>分解や改造、部品の交換などをしないでください。 故障や誤作動の原因となり、重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>異物を本体内部に入れないでください。 故障や誤作動の原因となり、重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>下記に該当する場合はただちに使用を中止し、販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本治療器の作動が、通常の作動と異なるとき コード類や内部に故障の可能性があります。 ● 本治療器が異常に発熱したり、発煙や異臭が発生したとき 内部に深刻な故障があります。 ● 本治療器の外観に変形や破損、ネジのゆるみなどが発見されたとき 正常に作動していても、故障の可能性があります。 ● 本治療器に外部からの衝撃が加えられたとき 正常に作動していても、故障の可能性があります。 	

警告

本治療器を使用できるのは、日本国内のみです。規格が異なるため海外では使用できません。

This product designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.



注意

使用場所について

火の近くや水がかかるような場所では使用しないでください。
火災、感電や本治療器の故障につながる恐れがあります。



気圧、温度、湿度に注意して使用してください。
感電や本治療器が劣化し、故障につながる恐れがあります。



ほこりがたまりやすい場所では使用しないでください。
火災や本治療器の故障につながる恐れがあります。



直射日光が当たる場所では使用しないでください。
本治療器が劣化し、故障につながる恐れがあります。



塩分、イオウ分などを含んだ空気がある場所では使用しないでください。
本治療器が劣化し、故障につながる恐れがあります。



傾斜や振動のある場所、他の機器と接触するような場所では使用しないでください。
重大な事故や本治療器の故障につながる恐れがあります。








電源の周波数、電圧および許容電流値を確認したうえで使用してください。
誤った場合、火災や本治療器の故障につながる恐れがあります。










⚠ 注意

ご使用前の準備について

AC アダプタ、導子やコード類に汚れや異常がないか確認してください。 過度の刺激を受けたり、火傷を負う恐れがあります。	
操作類、表示類などが正常に機能することを確認してください。	
本治療器に AC アダプタ、導子やコード類が正しく接続されていることを確認してください。	
コード類を取り扱う際には、プラグ部分を持って行ってください。	
治療中に体調不良や不快感があった場合には申し出るよう、患者に伝えてください。	

ご使用中について

治療中に導子を装着しないでください。また導子同士が接触または重ならないようにしてください。 過度の刺激を受ける恐れがあります。	
治療中に導子やコード類の抜き差しをしないでください。 過度の刺激を受ける恐れがあります。	
治療中は導子にネックレスなどの装飾品の金属が触れないようにしてください。 過度の刺激を受ける恐れがあります。	
治療中は常に患者の状態に注意を払い、患者が体調不良や不快感を訴えた場合あるいは患者に異常が見られた場合は、ただちに使用を中止してください。	
治療中や電源を入れた状態で持ち運びしないでください。	
本治療器の操作は、液晶表示部に対して正対し、各種表示を確認しながら行ってください。	
液晶表示部は、強く押したり、ひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。 傷をつけるなど、破損や故障につながる恐れがあります。	

⚠ 注意

ご使用後について

導子やコード類は必要以上の抜き差しをしないでください。
劣化を早めます。



導子やコード類の取り外しの際、コード部分を持って引き抜くなどの無理な力をかけないでください。
断線する恐れがあります。



手入れと管理について

導子やコード類の付属品は常に清潔に保ち、整理して保管してください。



本治療器は使用の都度、必ず清掃してください。



故障したときは販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。



本治療器は、必ず年1回定期点検を行ってください。



導子やコード類の付属品が劣化または傷んでいる場合は交換してください。
重大な事故や本治療器の故障につながる恐れがあります。



本治療器をしばらく使用しなかったときは、使用する前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。



電源コードをコンセントに長時間差し込んだままにしないでください。
トラッキング現象により火災につながる恐れがあります。



仕様

■種類

電撃に対する保護の形式
電撃に対する保護の程度

クラスⅡ機器、内部電源機器
BF形装着部

■電氣的定格

クラスⅡ機器

電源電圧

AC100V

電源周波数

50/60Hz

電源入力

30VA

内部電源機器

電源電圧

DC7.4V(内蔵リチウムイオン電池)

電池容量

1250mAh

電源入力

5.5VA

■寸法・重量

寸法

(長さ)150mm×(幅)80mm×(厚さ)33mm

重量

310g

■機能・性能

最大出力電流

40mA_{rms}(500Ω負荷時)

最大出力電圧

300V_{p-p}(500Ω負荷時)

出力周波数

1~200Hz

出力波形

パルス波

パルス幅

10~50μsec

出力チャンネル数

2チャンネル

治療時間

1~60分

■使用環境条件

温度 10~40°C

湿度 30~75%rh

気圧 700~1060hPa

■安全装置

ゼロスタート方式

ストップスイッチ

過電流制御

■適合規格

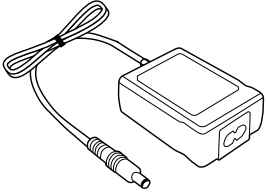
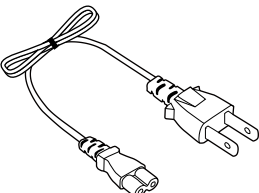



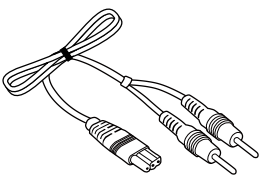
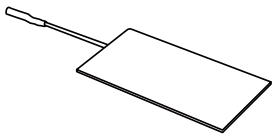
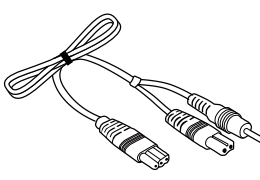
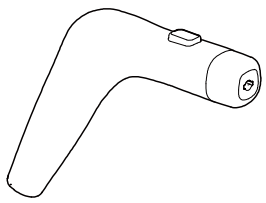
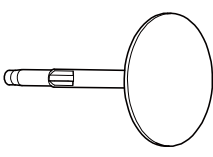
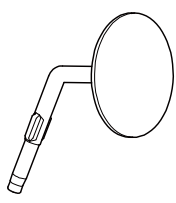
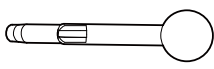
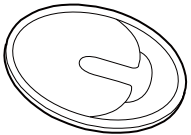
JIS T 0601-1: 1999

JIS T 0601-1-2: 2002

JIS T 0601-2-10: 2005

付属品一覧

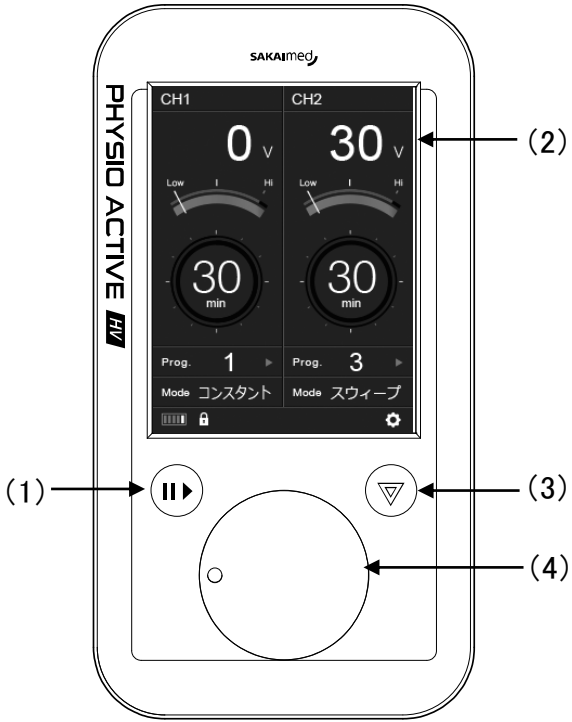
本治療器の付属品です。

(1)	ACアダプタ	(2)	電源コード	(3)	添付文書	(4)	取扱説明書 (保証書付)
							
(5)	同梱品リスト	(6)	導子コード	(7)	粘着導子 40mm × 90mm	(8)	シューティング 導子コード
							
(9)	シューティング導子	(10)	電極φ30板 ストレートタイプ	(11)	電極φ30板 カーブタイプ	(12)	電極φ10球 ストレートタイプ
							
(13)	電極スポンジ φ30板用						
							

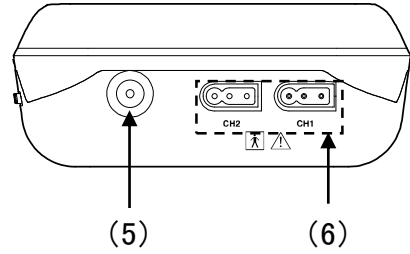
各部の名称

■本体

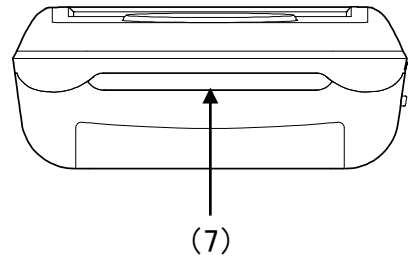
上面図



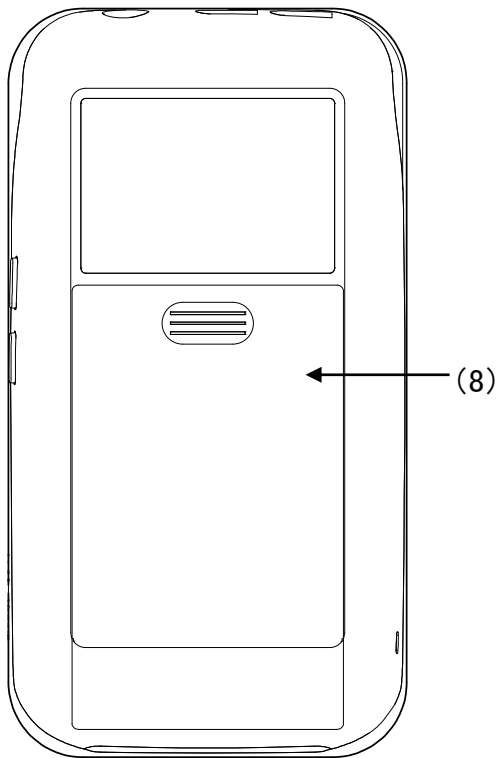
背面図



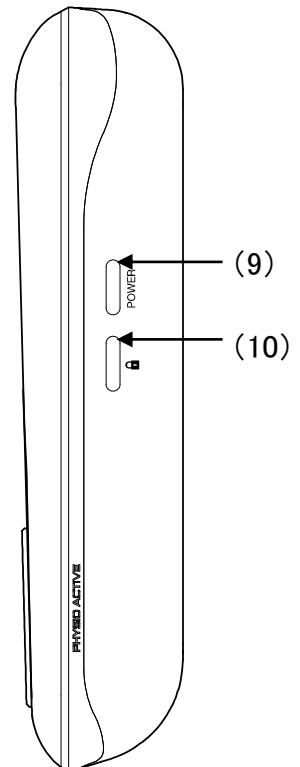
正面図



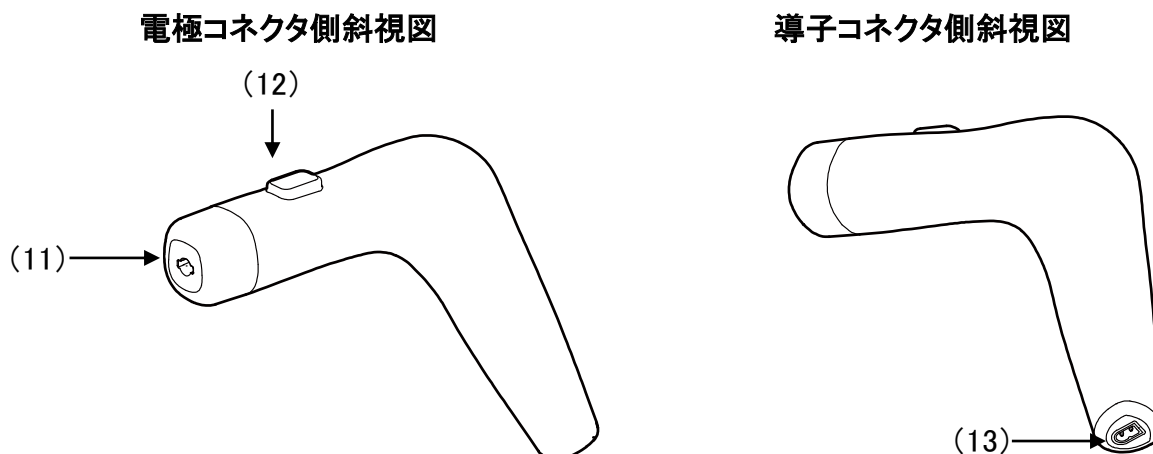
底面図



右側面図



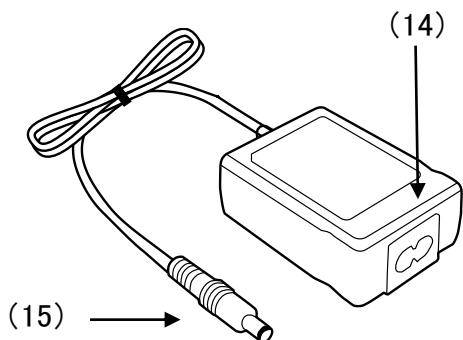
■シューティング導子



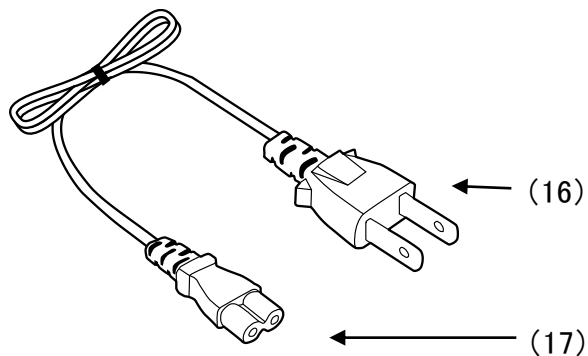
名称	説明
(1) 一時停止/再開スイッチ	全チャンネルの低周波の出力を一時停止および再開します。
(2) 液晶表示部	設定および状態を表示します。また、タッチパネルの操作をします。 P.13「液晶表示部」を参照してください。
(3) ストップスイッチ	全チャンネルの低周波の出力をただちに停止します。
(4) 出力レベル調節つまみ	出力レベルを調節します。また、治療時間やプログラム設定の選択に使用します。
(5) DC ジャック	AC アダプタの DC プラグを接続します。
(6) 出力コネクタ	チャンネル 1 とチャンネル 2 の出力コネクタです。 導子コードまたはシューティング導子コードを接続します。
(7) 状態ランプ	状態を表示します。 (出力中:黄色、充電中:青色、異常停止:赤色)
(8) 電池蓋	リチウムイオン電池を収納する蓋です。
(9) 電源スイッチ	電源の投入および切断をするスイッチです。
(10) ロックスイッチ	ロック機能を行うか否かを選択します。
(11) 電極コネクタ	電極φ 30 板ストレートタイプ、電極φ 30 板カーブタイプまたは電極φ 10 球ストレートタイプを接続します。
(12) 出力スイッチ	出力スイッチを押している間は低周波を出力します。
(13) 導子コネクタ	シューティング導子コードのタッチプルーフを接続します。

■コード類

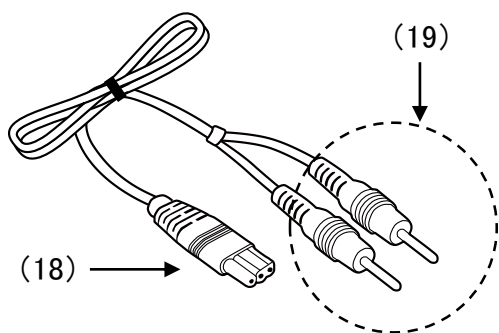
ACアダプタ



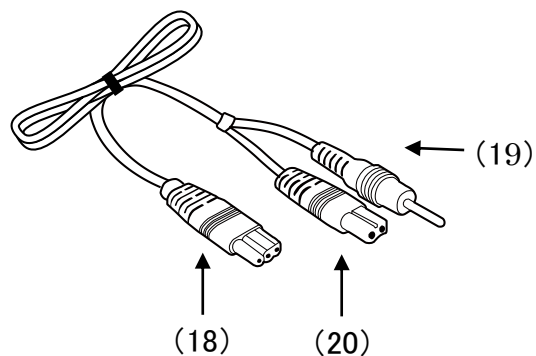
電源コード



導子コード

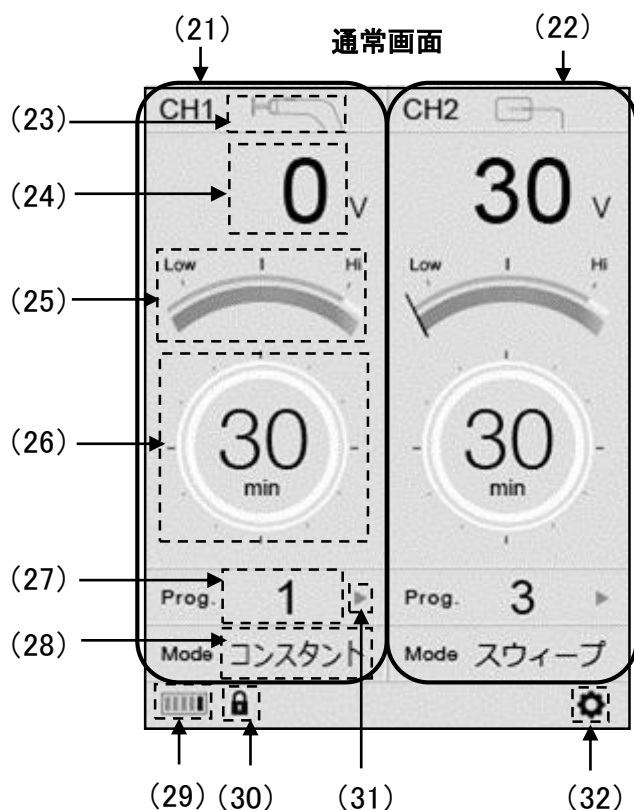


シューティング導子コード












名称	説明
(14) コネクタ	電源コードと接続します。
(15) DC プラグ	本体のACジャックと接続します。
(16) AC プラグ	コンセントに接続します。
(17) 電源コードプラグ	ACアダプタのコネクタに接続します。
(18) プラグ	本体の出力コネクタに接続します。
(19) ピン	粘着導子と接続します。 黄色が＋、青色が－の極性です。
(20) タッチプルーフ	シューティング導子の導子コネクタと接続します。

■液晶表示部



名称	説明
(21) CH1 制御部	チャンネル 1 の制御部です。
(22) CH2 制御部	チャンネル 2 の制御部です。
(23) 接続表示	出力コネクタの接続を表示します。 P.14 「液晶表示について」を参照してください。
(24) 出力電圧表示	出力電圧の目標値を表示します。
(25) 出力電流表示	出力電流の目安を表示します。 P.14 「液晶表示について」を参照してください。
(26) タイマ表示	治療時間または治療残時間を表示します。 P.14 「液晶表示について」を参照してください。
(27) プログラム設定表示	選択されたプログラムを表示します。また、プログラム設定を開始します。
(28) モード表示	選択されたプログラムの出力モードを表示します。
(29) 電池表示	リチウムイオン電池の状態を表示します。
(30) ロック表示	ロック機能の選択を表示します。 P.14 「液晶表示について」を参照してください。
(31) 次画面表示	画面の切替えを表すマークです。
(32) 本体設定表示	本体設定を開始します。

■液晶表示について

液晶表示	表示例	表示内容
接続表示		未接続のとき表示します。
		導子コードを接続すると表示します。
		シューティング導子コードを接続すると表示します。
出力電流表示		出力電流の目安を表示します。 出力電流の増加とともに白い針が Low から Hi の方向に振れ、減少とともに Hi から Low の方向に振れます。
タイマ表示		内側の円は選択した治療時間を分割して表示します。 黒表示:経過時間、青表示:残時間 (左図の円は治療時間 20 分設定、5 分経過)
		外側の円は秒数を表示します。 黒表示:経過秒数、灰表示:残秒数 治療残時間が1分を切った場合に min を sec に切替えて表示します。 (左図の円は 20 秒経過)
		プログラム設定で、同時または交互を選択したチャンネルに同期するチャンネルで表示します。
ロック表示		ロック非選択のとき表示します。
		ロック選択のとき表示します。

■略語・記号

本治療器には、いくつかの略語や記号を用いています。
それらの意味と内容を以下に示します。

略語・記号	説明	記載箇所
CH	CHANNEL の略です。 チャンネルを示します。	本体 液晶表示部
Hi	HIGH の略です。 高さを示します。	液晶表示部
min	MINUTE の略です。 分を示します。	液晶表示部
sec	SECOND の略です。 秒を示します。	液晶表示部
Prog.	PROGRAM の略です。 プログラムを示します。	液晶表示部
LCD	LIQUID CRYSTAL DISPLAY の略です。 液晶ディスプレイを示します。	液晶表示部

使用場所および配線方法

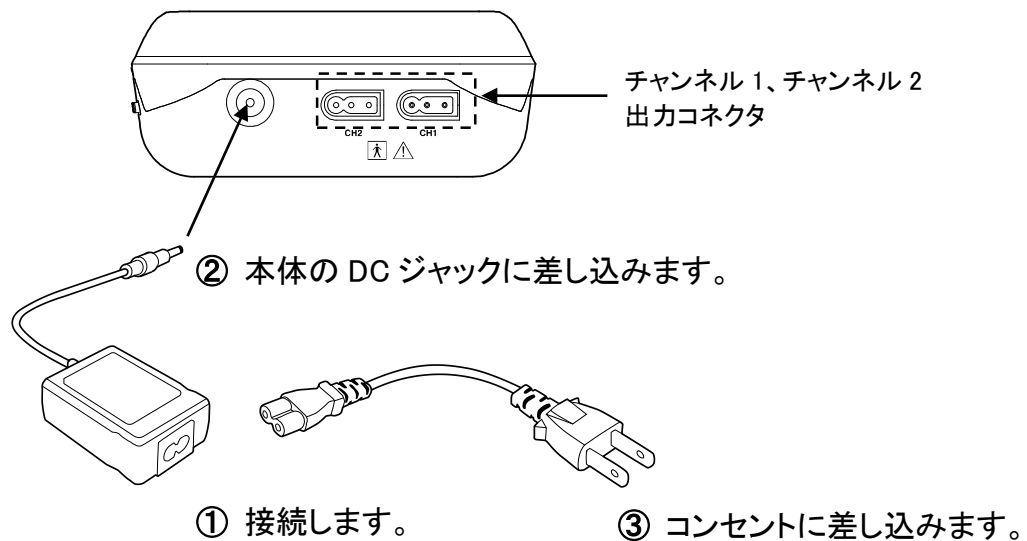
■使用場所について

- 火の近くや水がかかるような場所では使用しないでください。
- 気圧、温度、湿度に注意して使用してください。
- ほこりがたまりやすい場所では使用しないでください。
- 直射日光が当たる場所では使用しないでください。
- 塩分、イオウ分などを含んだ空気がある場所では使用しないでください。
- 傾斜や振動のある場所、他の機器と接触するような場所では使用しないでください。
- 電源の周波数、電圧および許容電流値を確認したうえで使用してください。

■電源、配線について

1. ACアダプタと電源コードの接続

- ① ACアダプタと電源コードを接続します。
- ② ACアダプタのDCプラグを本体のDCジャックにしっかりと奥まで差し込んでください。
- ③ 電源コードの AC プラグをコンセントにしっかりと奥まで差し込んでください。

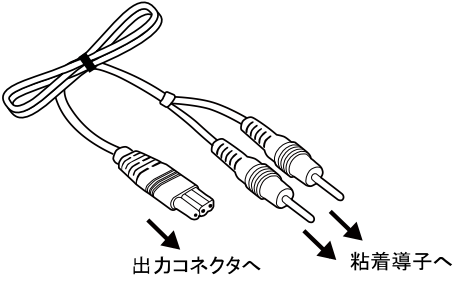


2. 導子コードおよびシューティング導子コードの接続

導子コードおよびシューティング導子コードのプラグは、出力コネクタに接続します。
導子コードおよびシューティング導子コードを接続した際は、接続部分がしっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。

●導子コード

ピンと粘着導子を接続します。

導子コード	導子
	<p>粘着導子 40mm × 90mm</p>

●シューティング導子コード

ピンと粘着導子を接続します。

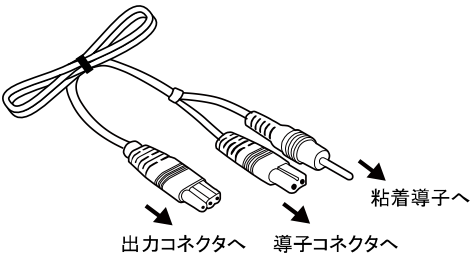
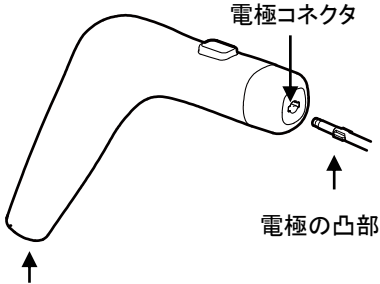
タッチプルーフをシューティング導子の導子コネクタに接続します。

電極コネクタに電極を接続します。電極コネクタと電極の接続は、電極コネクタの穴に電極の凸部を合わせ、しっかりと奥まで差し込んでください。

電極φ 30 板ストレートタイプおよび電極φ 30 板カーブタイプは、電極スポンジφ 30 板用をつけて使用することができます。

・電極スポンジの装着

電極に水を含ませた電極スポンジをはめ込みます。電極スポンジを使うときは、必ずきれいな水でよく洗ってからお使いください。








シューティング導子コード	導子	
	<p>粘着導子 40mm × 90mm</p>	
	<p>シューティング導子</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・電極φ 30 板 ストレートタイプ ・電極スポンジ φ 30 板用
		<ul style="list-style-type: none"> ・電極φ 30 板 カーブタイプ ・電極スポンジ φ 30 板用
		<ul style="list-style-type: none"> ・電極φ 10 球 ストレートタイプ

電池での使用

本治療器は、内部電源(リチウムイオン電池)を備えているので、ACアダプタを接続していなくても使用できます。

■電池表示について

電池表示で電池の状態を確認できます。

 点滅	充電中です。
	電池残量が十分にあります。
  	電池残量がまだあります。
	電池残量が少なくなりました。充電してください。
 点滅	電池残量がありません。低周波を出力できません。 速やかに充電してください。

■電池の充電

充電時間は、電池の残量がない状態(電源が入らない)から約 2 時間かかります。約 2 時間の充電で、約 4 時間*使用できます。

※チャンネル 1 とチャンネル 2 をプログラム 2 に設定し、粘着パッドを使用して 150V で同時出力(500Ω負荷)した場合の使用時間です。

治療中でないことを確認します。

AC アダプタと電源コードを接続します。

AC アダプタの DC プラグを本体の DC ジャックにしっかりと奥まで差し込んでください。

電源コードの AC プラグをコンセントにしっかりと奥まで差し込んでください。

充電を開始すると、状態ランプは青色で点灯します。

充電が完了すると、状態ランプは消灯します。

充電が完了したら、電源コードの AC プラグをコンセントから抜いてください。AC アダプタの DC プラグを本体の DC ジャックから抜いてください。

■電池(リチウムイオン電池:型番 2LP424765)の交換

電池は消耗品です。十分に充電しても使用時間が短いときは、電池の寿命です。新しい電池と交換してください。電池を交換するときは、必ず電源を切った状態で行ってください。

1. 本体底面の電池蓋を外し、電池を取り出します。



2. 電池を本体から取り外します。

電池のコネクタの根元をつまんで、本体から取り外します。取り外しの際、コード部分を持って引き抜かないでください。



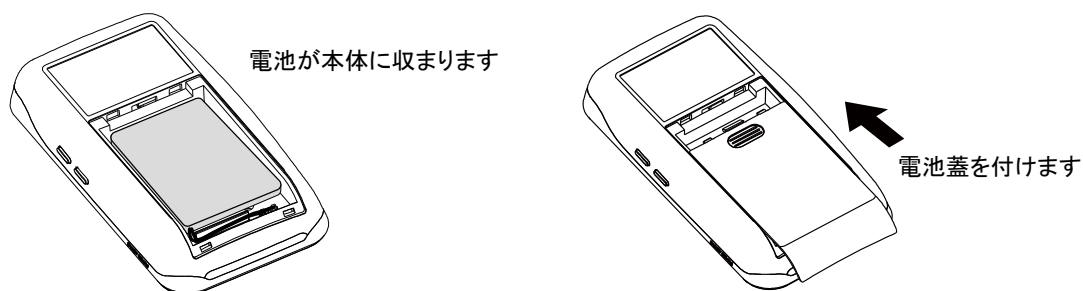
3. 新しい電池を本体に取り付けます。

新しい電池のコネクタを本体に差し込みます。コネクタがしっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。

電池のコードは本体の溝に沿わせて、電池を本体にセットします。



4. 電池が本体に収まっていることを確認し、電池蓋を付けます。



ご使用方法

1. 電源を入れます。

電源スイッチを長押しすると本治療器が起動し、液晶表示部にイニシャル表示が表示されます。

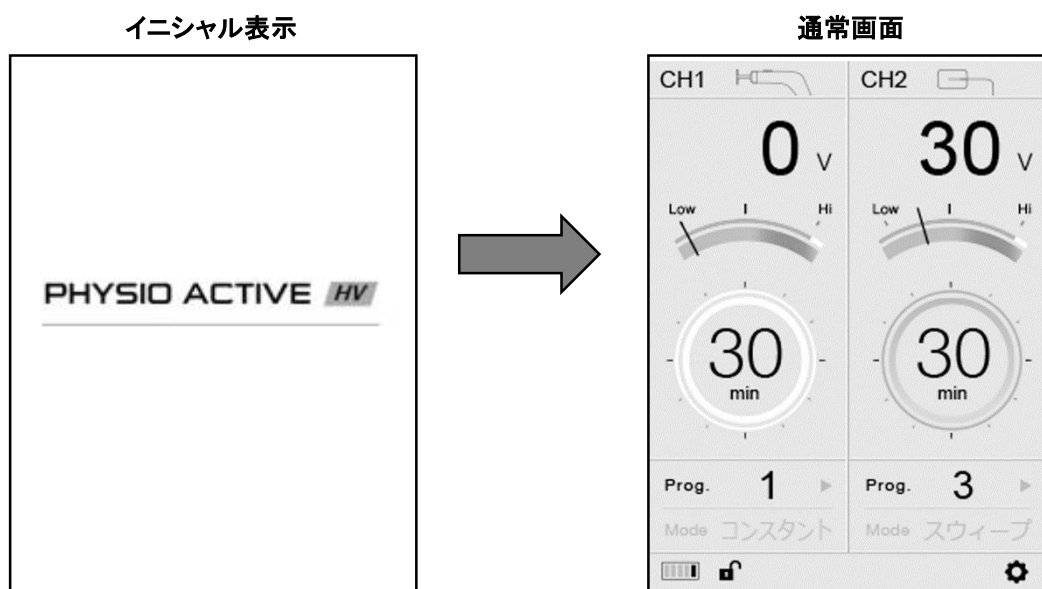
液晶表示部に通常画面が表示されてから、チャンネル1 およびチャンネル2 の設定を行ってください。

液晶表示部は、指先で操作ができるタッチパネルです。画面にタップ(触れる)操作で選択することができます。選択する項目をタップして(白から青の表示に変わって)から10秒以上操作しないと選択が解除され(青から白の表示に戻り)ます。

10分以上操作しないと自動的に電源が切れますが故障ではありません。治療を行う場合は再度、電源を入れてください。

液晶表示部の明るさや音量の変更は本体設定で選択してください。

本体設定 → P.24



2. 治療時間を選択します。

タイマ表示をタップします。選択したチャンネルのタイマ表示の数値は青く表示されます。出力レベル調節つまみを回して、治療時間を選択します。

出力レベル調節つまみを時計回りに回すと治療時間が長くなり、反時計回りに回すと短くなります。

治療時間は、1～60分(1分単位)の範囲で選択することができます。

3. プログラムを選択します。

各チャンネルのプログラムを変更するときは、プログラム設定で選択してください。
プログラム設定で選択すると、プログラム設定表示およびモード表示は、選択した内容が表示されます。

プログラム設定 → P.26

波形 → P.29

4. 治療部位を清潔にします。

治療部位やその周囲に異常がないか確認し、汚れなどをタオルなどでよく拭き取ってください。

5. 導子を治療部位に装着します。

低周波を出力していないことを確認し、導子を治療部位に装着します。

粘着導子 → P.33

シューティング導子 → P.35

6. 治療を開始します。

出力電圧表示をタップします。選択したチャンネルの出力電圧表示の数値は青く表示されます。

出力レベル調節つまみを時計回りに回すと、治療を開始します。治療を開始すると選択した治療時間からカウントダウンをはじめます。一時停止/再開スイッチで、全チャンネルの低周波の出力を一時停止および再開をすることができます。

●出力レベルを調節します。

出力レベル調節つまみで出力レベルを調節してください。出力レベルは、出力レベル調節つまみの時計回りの操作で増加し、反時計回りの操作で減少します。

出力レベルは、出力電圧表示で確認できます。

出力電圧表示は、出力レベルの増加とともに上昇し、減少とともに下降します。

独立、同時および交互モードを選択した場合、下降期間および休止期間(出力電圧表示が点滅しているときは)は出力を増加させることができません。

プログラム 3、プログラム 4 またはプログラム 5 の選択 →P.27

●**ロックを選択します。**

治療中に誤った操作をしないようにロック表示があります。ロックスイッチを長押ししてロックを選択してください。ロック表示により、ロックが選択されたか否かを確認できます。機能しない操作をしたときは、ロック表示が点滅します。

液晶表示について → P.14

7. 治療を終了します。

治療の終了は、「治療時間による自動終了」、「出力レベル調節つまみによる終了」または「ストップスイッチによる終了」があります。

●**治療時間による自動終了**

治療時間が経過したチャンネルの出力は自動的に停止し、終了音が鳴り、治療が終了したことを知らせます。

●**出力レベル調節つまみによる終了**

治療を終了するチャンネルの出力電圧表示をタップします。
出力レベル調節つまみを反時計回りへ回し続けると、終了音と共に治療が終了します。

●**ストップスイッチによる終了**

治療中にストップスイッチを押すと、全チャンネルの出力がただちに停止し、終了音と共に治療が終了します。

8. 電源を切ります。

治療が終了したら電源スイッチで電源を切ってください。

9. 導子を治療部位から外します。

導子を治療部位から取り外し、治療部位をタオルなどでよく拭いてください。粘着導子の粘着剤やシューティング導子の使用時に塗ったジェルなどは、皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こす原因となります。
使用後は本体と導子を清掃してください。

手入れと管理 → P.38



注意

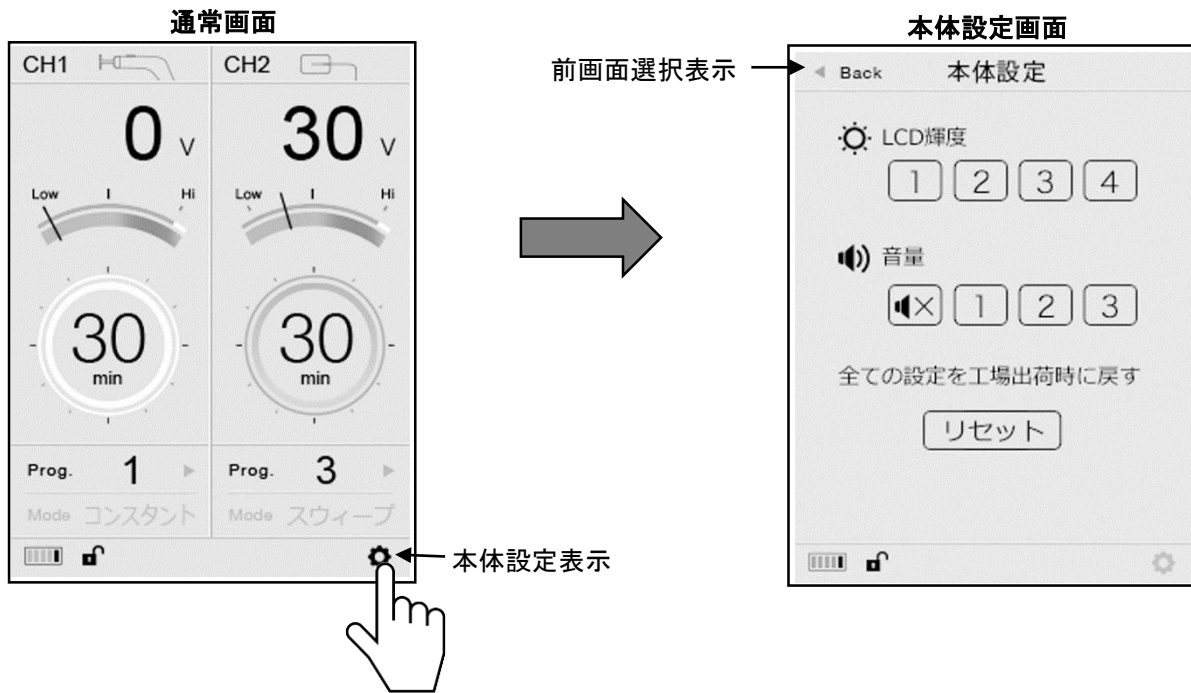
- 刺激の感じ方には個人差があります。患者が苦痛を感じない範囲で出力レベルを調節してください。
- 出力中に粘着導子を皮膚から取り外す場合は、必ず一時停止/再開スイッチを押して出力を停止してください。
- 治療中に、出力電流表示が振れない場合は接続不良です。ただちに治療を中止し、導子およびコード類の接続部分を確認してください。
- 低周波の治療電流による火傷または皮膚の損傷は、単位面積あたりの治療電流が過大になった場合に発生します。単位面積あたりの治療電流が大きくなる原因は、患者の感覚に頼って電流を上げすぎてしまう場合と、導子の皮膚への装着が不完全で導子の通電面積が減少し、治療電流が皮膚の狭い部分に集中する場合の二通りがあります。治療電流は控えめに、導子は確実に装着するようにしてください。刺激感はやや物足りない程度が適切で、痛かったりするようでは出力レベルの上げすぎになります。治療効果が十分に得られなかったり、火傷や皮膚の損傷の恐れもありますので、その旨を患者に説明し、安全な治療を行ってください。

本体設定

■本体設定画面の切替え

本体設定表示をタップすると本体設定画面に切替わります。このとき設定値は青で表示されています。

本体設定画面から通常画面へ戻す場合は、前画面選択表示をタップしてください。



■LCD 輝度について

本治療器の液晶表示部の明るさを、輝度 1、2、3、4 から選択できます。

設定する輝度をタップしてください。タップした輝度は青で表示され、設定値となります。

本治療器をはじめて使用する場合は、輝度 4 に設定されていますが、輝度の設定を変更すると、次回使用時は、変更された輝度が記憶されています。

■音量について

本治療器の音量は、無音、1(小音量)、2(中音量)、3(大音量)から選択できます。

設定する音量をタップしてください。タップした音量は青で表示され、設定値となります。

本治療器をはじめて使用する場合は、2(中音量)に設定されていますが、音量の設定を変更すると、次回使用時は、変更された音量が記憶されています。

終了音、警告音および異常停止音は、0(無音)が選択されても1(小音量)になります。

●音の種類

本治療器は、以下の10種類の音を出力します。

項目	内容	時期
電源供給音	電源が供給したことを知らせます。	電源供給時
電源投入音	電源が投入したことを知らせます。	電源投入時
電源切断音	電源が切断したことを知らせます。	電源切断時
操作音	正常に操作したことを知らせます。	正常操作時
誤操作音	誤って操作したことを知らせます。	誤操作時
開始音	治療を開始したことを知らせます。	治療開始時
終了音	治療が終了したことを知らせます。	治療終了時
出力レベル 操作音	出力レベルの調節を正常に操作したことを知らせます。	出力レベル 操作時
警告音	警告する事態が発生したことを知らせます。	警告検出時
異常停止音	異常状態が発生したことを知らせます。	異常検知時

■リセットについて

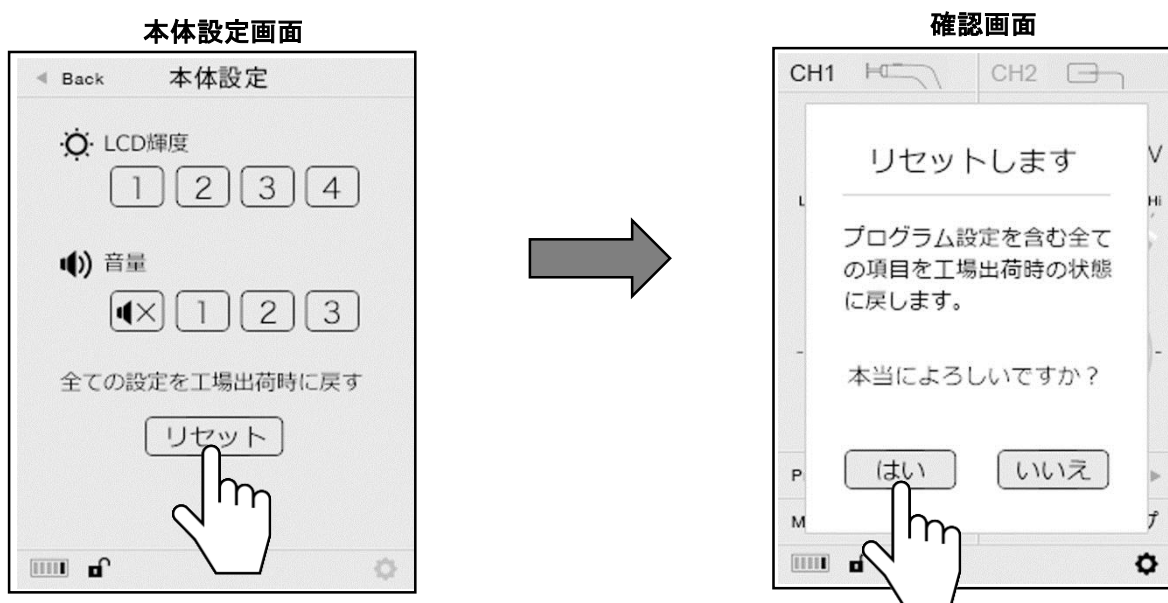
リセットを選択すると、プログラム設定を含む全ての項目を工場出荷時の状態に戻します。

リセットをタップすると本体設定画面から確認画面に切替わります。

リセットを選択する場合は、「はい」をタップしてください。

リセットを選択しない場合は、「いいえ」をタップしてください。

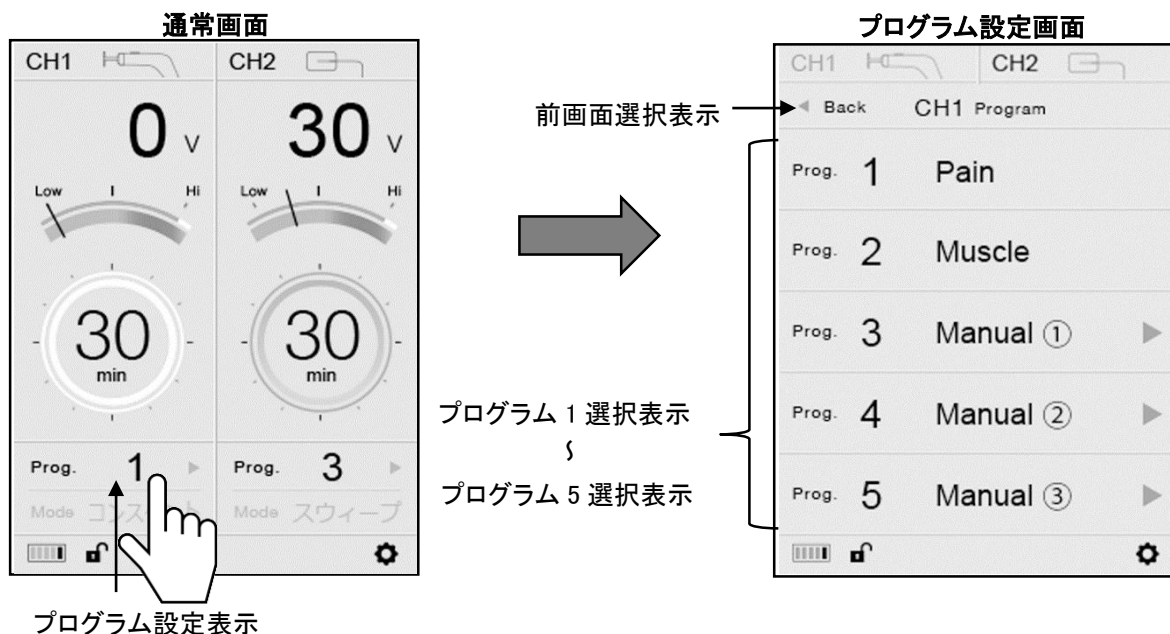
記憶機能 → P.30



プログラム設定

■プログラム設定画面の切替え

プログラム設定表示をタップします。
プログラム設定画面に切替わります。このとき設定されているプログラムは青く表示されています。



■プログラムの選択

プログラム 1 選択表示～プログラム 5 選択表示のいずれかをタップします。

●プログラム 1 またはプログラム 2 の選択

各項目の内容は変更することができません。

プログラム 1 またはプログラム 2 をタップしてください。通常画面に戻ります。

選択	モード
プログラム 1 Pain	コンスタント
プログラム 2 Muscle	コンスタント

●プログラム 3、プログラム 4 またはプログラム 5 の選択

各項目の内容は変更することができます。

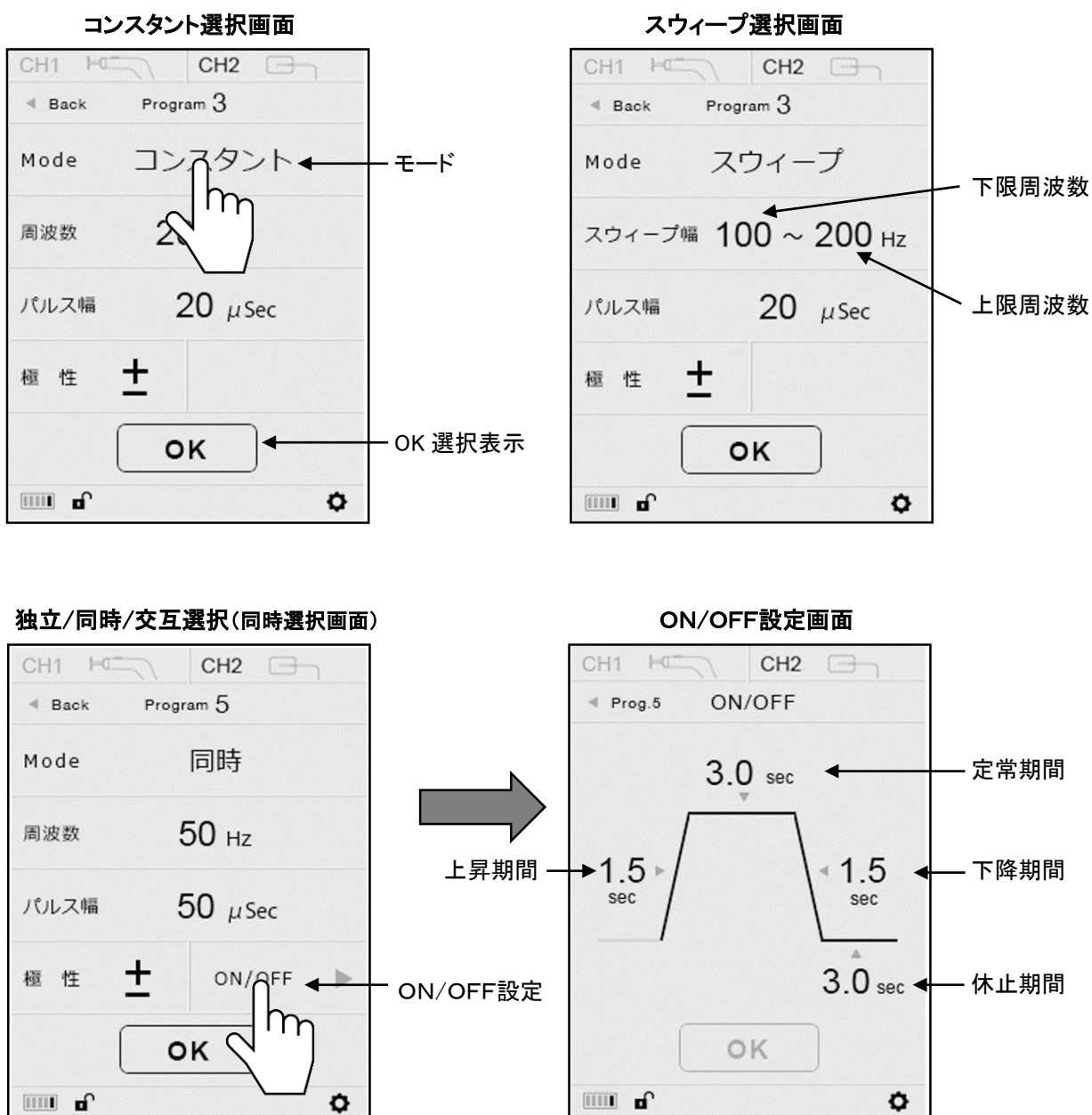
モードをタップするごとに画面が切替わります。

独立、同時または交互を選択した場合、出力の上昇期間、下降期間、定常期間および休止期間を選択できます。ON/OFF設定をタップしてください。ON/OFF設定画面に切替わります。

変更する項目をタップします。変更する項目が青の表示に切替わったら、出力レベル調節つまみを回して選択してください。

各項目の変更が終わったら、OK 選択表示をタップしてください。通常画面に戻ります。

同時または交互を選択した場合、もう一方のチャンネルはプログラムを選択できません。片方のチャンネルが治療中の場合、各項目の内容は変更できません。また、モードが同時または交互のプログラムは選択できません。



・選択内容

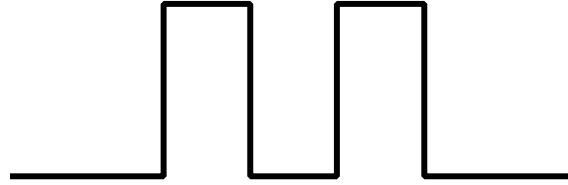
項目	選択内容	
Mode	コンスタント	一定の周波数を連続して出力します。
	スウィープ	周波数を変動して出力します。
	独立	一定時間ごとに出力と休止を繰り返します。
	同時	一定時間ごとに出力と休止を繰り返します。 チャンネル 1 とチャンネル 2 を同期して出力します。
	交互	一定時間ごとに出力と休止を繰り返します。 チャンネル 1 とチャンネル 2 を交互に出力します。
周波数	コンスタント	1～200Hz [1Hz 単位]
	独立 同時 交互	10～200Hz [1Hz 単位]
	スウィープ 下限周波数 ※	3～190Hz 20Hz 未満 [1Hz 単位] 20Hz 以上 [10Hz 単位]
スウィープ 上限周波数 ※	4～200Hz 20Hz 未満 [1Hz 単位] 20Hz 以上 [10Hz 単位]	
パルス幅	10～50 μ sec [10 μ sec 単位]	
極性	+ (正極)、- (負極)、 \pm (双極)	
ON/OFF	上昇期間	0.5～5.0 秒 [0.1 秒単位]
	下降期間	0.5～5.0 秒 [0.1 秒単位]
	定常期間	1.0～20.0 秒 [0.5 秒単位]
	休止期間	1.0～20.0 秒 [0.5 秒単位]

※ スウィープの 1 サイクル(下限→上限→下限)の時間は 30 秒

波形

■低周波の出力波形

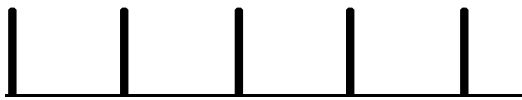
基本波形のイメージを下図に示します。



■出力モード

出力モードのイメージを下図に示します。

コンスタント



スウィープ



独立・同時・交互



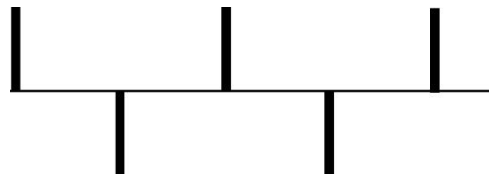
■極性

極性のイメージを下図に示します。

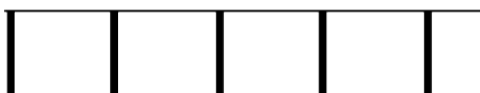
+(正極)



±(双極)



-(負極)



記憶機能

本治療器は、前回の設定状態を記憶する機能を備えています。電源投入時には前回の設定状態で起動します。また、工場出荷時の設定状態を初期設定値として記憶しています。

項目	初期設定値
治療時間(CH1,CH2)	10分
プログラム(CH1,CH2)	プログラム1
LCD輝度	輝度4
音量	2(中音量)
プログラム1 Pain	Mode: コンスタント
プログラム2 Muscle	Mode: コンスタント
プログラム3 Manual①	Mode: スウィープ 下限周波数: 100Hz 上限周波数: 200Hz パルス幅: 20 μ sec 極性: \pm (双極)
プログラム4 Manual②	Mode: スウィープ 下限周波数: 40Hz 上限周波数: 80Hz パルス幅: 50 μ sec 極性: \pm (双極)
プログラム5 Manual③	Mode: 同時 周波数: 50Hz パルス幅: 50 μ sec 極性: \pm (双極)
上昇期間	1.5秒
定常期間	3秒
下降期間	1.5秒
休止期間	3秒

異常検知

本治療器は、本治療器に発生した異常を検知する機能を備えています(全ての異常を検知するものではありません)。本治療器に何らかの異常が発生した場合、液晶表示部に異常内容を表示します。このとき、異常停止音が鳴り続け、状態ランプは赤色で点滅します。異常内容が表示されたら電源を切って、販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。本治療器が検知する異常内容の表示を以下に示します。

			
			<p>E1～E5 低周波出力に関する内部回路の異常</p> <p>PH、PL 電源に関する内部回路の異常</p>

安全装置

■ゼロスタート方式

治療を開始するときは、必ず最小の出力レベルで出力されます。

■ストップスイッチ

治療中に、ストップスイッチを押すことで、全チャンネルの出力がただちに停止する機能です。

■過電流制御

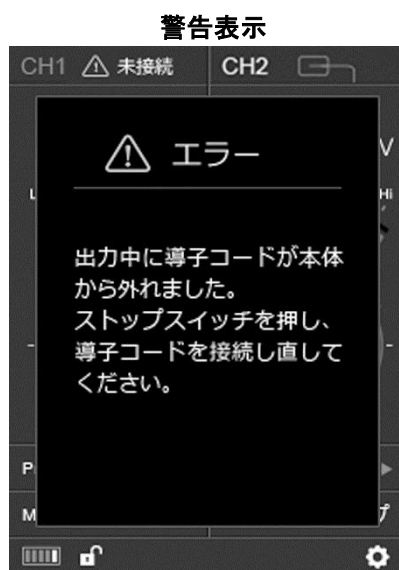
本治療器は、低周波の出力において、電流の流れ過ぎを防止する機能を備えています。電流の流れ過ぎを検出すると、出力レベルを自動的に低くします。

その他機能

■コード抜け検知

本治療器は、低周波を出力しているときに、出力コネクタから導子コードまたはシューティング導子コードが外れると、全チャンネルの出力がただちに停止し、液晶表示部に警告表示が表示されます。状態ランプは赤色で点灯します。

警告表示が表示されたらストップスイッチを押して、外れたチャンネルの導子コードまたはシューティング導子コードを接続してください。



■オートパワーオフ

低周波を出力していない状態で、10 分以上操作をしなかった場合、自動的に電源が切れます。

■LCD 輝度オートダウン

20 秒以上操作をしなかった場合、自動的に LCD 輝度を下げます。操作を再開すると元の LCD 輝度に戻ります。

粘着導子

■使用手順

粘着導子を安全にご利用いただくため、以下の手順にしたがってお使いください。

1. 粘着導子を装着する前に、治療部位の汚れなどをタオルなどでよく拭き取ってください。

汚れなどが皮膚に付着していると粘着導子の劣化を早めたり、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。

2. 導子コードが出力コネクタにしっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

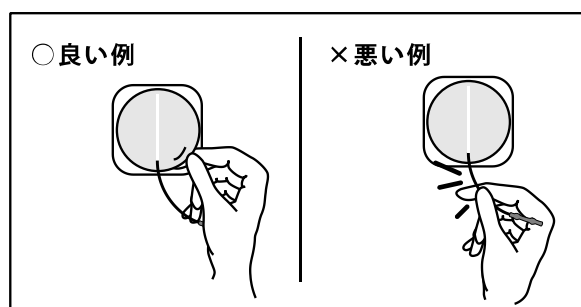
導子コードと出力コネクタが外れたり、抜けかかったままの状態では通電すると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。

3. 導子コードが粘着導子のコードにしっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

導子コードと粘着導子が外れたり、抜けかかったままの状態では通電すると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。

4. 粘着導子の端を摘んで保護シートからはがしてください。

保護シートをはがす際に、コードを引っ張ってはがさないでください。粘着導子に劣化が生じる原因となります。



5. 粘着導子の粘着面に劣化が生じていないか確認してください。

粘着面の粘着性能(乾燥の度合い)を確認し、乾燥していた場合は水で湿らせて粘着性能を回復させてください。

6. 治療部位に、粘着導子をしっかりと密着させ、重ならないように装着してください。

粘着導子が皮膚に密着していなかったり、重なっていたりすると、思わぬ刺激を受けたり、火傷を負うなどの原因となります。

7. 治療中に粘着導子または導子コードが外れたら、速やかに低周波の出力を停止してください。

低周波の出力中に粘着導子や導子コードを接続すると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。必ず低周波の出力が停止していることを確認してから、外れた部分を接続しなおすようにしてください。

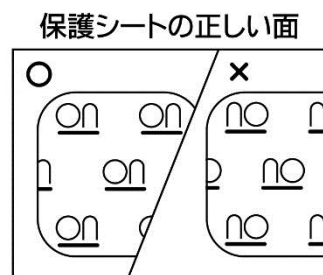
出力中に粘着導子を皮膚から取り外す場合は、必ず一時停止/再開スイッチを押して出力を停止してください。

8. 使用後は治療部位をタオルなどで拭いてください。

皮膚に粘着導子の粘着剤を付着させたまま放置すると、かぶれなどの原因となります。

9. 使用後は保護シートの中央に粘着導子を貼り付けて、粘着導子のビニール袋に入れてください。

手入れと管理 → P.38



■取扱方法

1. 粘着導子は消耗品です。使用限度に達している場合は使用せずに交換してください。

以下のような使用限度に達した粘着導子を使用すると思わぬ刺激を受けたり、火傷を負うなどの恐れがあります。使用せずに交換をお願いします。

- 使用回数(着脱)が 20 回を超えたもの
- 開封後 1 ヶ月を過ぎたもの
- 使用期限を過ぎたもの(使用期限はパッケージの裏面に記載されています。)
- 粘着性能が回復しないもの
- 取り除けない大きなゴミなどが付着したもの
- えぐれなどの大きな傷が生じたもの

2. 廃棄する際は、各自治体の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

シューティング導子

■使用手順

シューティング導子を安全にご利用いただくため、以下の手順にしたがってお使いください。

※電極とは、電極φ 30 板ストレートタイプ、電極φ 30 板カーブタイプおよび電極φ 10 球ストレートタイプの総称です。

1. シューティング導子を使用する前に、治療部位の汚れなどをタオルなどでよく拭き取ってください。

汚れなどが皮膚に付着していると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。

2. シューティング導子コードが出力コネクタにしっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

シューティング導子コードと出力コネクタが外れたり、抜けかかったままの状態では通電すると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。

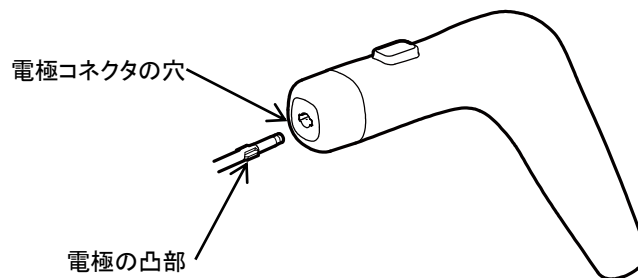
3. シューティング導子コードに粘着導子のコードとシューティング導子が、しっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

シューティング導子コードに粘着導子のコードとシューティング導子が外れたり、抜けかかったままの状態では通電すると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。
粘着導子の使用については、P.33 「粘着導子」を参照してください。

4. シューティング導子に電極が、しっかりと奥まで差し込まれているか確認してください。

シューティング導子の電極コネクタの穴に電極の凸部を合わせ、しっかりと奥まで差し込んでください。

シューティング導子と電極が外れたり、抜けかかったままの状態では通電すると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。



5. 電極にジェルなどを塗布します。電極スポンジを使用するときは、電極に電極スポンジをはめ込みます。

ジェルなどを十分に塗らないと、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。

電極φ 30 板ストレートタイプおよび電極φ 30 板カーブタイプは、電極スポンジをつけて使用することができます。

電極スポンジは、十分に水を含ませ、軽く絞ってください。

水分の不足は、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。使用前や使用中、乾いてきた場合やすべりが悪くなった場合には、さらに水を含ませるようにしてください。

6. 治療部位に電極がしっかりと接触していることを確認してください。

シューティング導子は術者が保持し、治療部位に接触していることを確認してください。

術者がシューティング導子を保持することで機器の操作ができない場合は、操作者が機器の操作を行ってください。

シューティング導子の側面には出力スイッチがついています。出力スイッチを押している間は低周波を出力します。ただし、本体の一時停止/再開スイッチで一時停止をしている場合は、出力スイッチを押しても出力しません。

低周波の出力中に電極を治療部位に接触させると、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。必ず低周波の出力が停止していることを確認してから、治療部位に接触させてください。

7. 治療中に粘着導子と電極が接触しないように注意してください。

粘着導子と電極が接触すると、思わぬ刺激を受けたり、火傷を負うなどの原因となります。

8. 治療中にシューティング導子コードに接続した粘着導子のコード、シューティング導子または電極が外れたら、速やかに低周波の出力を停止してください。

低周波の出力中の接続は、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。

9. 使用後は治療部位をタオルなどで拭いてください。使用した電極スポンジは洗淨してください。洗淨後は風通しの良いところで陰干しをしてください。

皮膚にジェルなどを付着させたまま放置すると、炎症を起こす原因となります。

手入れと管理 → P.38

■取扱方法

1. 電極スポンジは消耗品です。劣化している場合は使用せずに交換してください。

以下のような劣化した電極スポンジを使用すると思わぬ刺激を受けたり、火傷を負うなどの恐れがあります。使用せずに交換をお願いします。

- ほころびたもの
- 破れたもの

2. 廃棄する際は、各自治体の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

手入れと管理

■清掃方法

本体や付属品は、常に清潔にしてください。汚れを付着したまま放置すると変色および劣化などの原因となります。

●使用後のお手入れ

1. 本体

水を含ませよく絞ったやわらかい布で本体を拭いてください。

2. 粘着導子の洗浄

使用後はゴミなどの異物が付着している場合は、水を1～2滴つけ、指で軽く擦り、異物を浮かせて取り除いてから、ガーゼで軽く拭き取ってください。

3. シューティング導子の洗浄

使用後はシューティング導子に付着した汚れなどを、水を含ませよく絞ったやわらかい布で拭き取ってください。

4. 電極の洗浄

使用後は電極に付着した汚れやジェルなどを、水を含ませよく絞ったやわらかい布で拭き取ってください。

5. 電極スポンジの洗浄

使用後は電極スポンジを中性洗剤でよく洗い、その後きれいな水で中性洗剤をよく洗い流してください。

洗浄後は絞って風通しの良いところで陰干しをしてください。

■点検方法

●日常点検

1. 本体・付属品の確認

本体と付属品に異常がないかを確認してください。使用限度に達している粘着導子や電極スポンジは交換してください。

2. 接続部の確認

付属品のコード類が、本体に正しく接続されているか確認してください。電源コードとコンセントの隙間に、ほこりなどがたまっていないか確認してください。

3. 電源入力時の確認

電源を入れたとき、機能や表示に異常がないことを確認してください。

4. スイッチおよびツマミの確認

各スイッチおよびツマミが正常に機能するか確認してください。

5. ゼロスタート方式の確認

電源を入れたとき、出力電圧表示が「0」表示されているか確認してください。

6. ストップスイッチの確認

治療中に、ストップスイッチを押してください。全てのチャンネルの出力が停止することを確認してください。

●定期点検

年1回、販売業者、貸与業者または製造販売業者に保守点検を依頼してください。

■保管・輸送および廃棄方法など

●保管について

- 水がかからない場所に保管してください。
- ほこりがたまりにくい場所に保管してください。
- 直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 塩分やイオウ分などを含んだ空気がある場所を避けて保管してください。
- 傾斜、振動のある場所を避けて保管してください。
- 他の機器との接触に十分注意して保管してください。
- 化学薬品やガスの発生する恐れのない場所に保管してください。
- 下記の環境条件に適した場所に保管してください。

粘着導子 温度:5~27°C

●輸送について

- 輸送の際は、破損しないよう本治療器をお届けした際の梱包材にて梱包してください。
- 梱包材に記載されている図記号は、天地無用、取扱注意、水濡禁止、直射日光遮へい、温度制限(図に表示されている温度の範囲内で保管することへの注意)を示しています。輸送時にはこれらの条件を十分満たすよう注意してください。
- 輸送の際は、保管時と同等の環境条件に適する場所に配置してください。

●本体の耐用期間

指定の保守・点検並びに消耗品の交換を実施した場合:7年

●廃棄方法

本体

販売業者、貸与業者または製造販売業者にご連絡ください。

付属品

各自治体の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

修理を依頼される前に

作動不良などが起こった場合、まず以下の点をよくご確認ください。

それでも正常に作動しない場合は、販売業者、貸与業者または製造販売業者にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	本体、ACアダプタおよび電源コードは正しく接続されていますか？	各接続部分は、しっかりと奥まで差し込んでください。 (P.16「電源、配線について」を参照)
	電池で使用する場合、電池の残量は十分ですか？	電池を充電してください。 (P.18「電池での使用」を参照)
	電池で使用する場合、電池は本体に正しくセットされていますか？	電池を本体に正しくセットしてください。 (P.19「電池の交換」を参照)
出力レベル調節ツマミを回しても低周波が出力されない。	選択したチャンネルの低周波を出力していますか？	低周波を出力するチャンネルの出力電圧表示を選択してから出力レベル調節ツマミを回してください。
	独立、同時および交互モードで出力電圧表示が点滅していませんか？	出力電圧表示が点滅していないときに出力レベル調節ツマミを回してください。
	出力コネクタにコード類が正しく接続されていますか？	導子コードまたはシューティング導子コードを出力コネクタに、しっかりと奥まで差し込んでください。 (P.33～各導子の説明を参照)
	導子は正しく装着されていますか？	導子が重なっていたり、外れかけていたりしないよう注意して装着してください。 (P.33～各導子の説明を参照)
	導子およびコード類に異常はありませんか？	正常な出力コネクタに、異常と思われる出力コネクタの導子およびコード類を接続して異常が認められるかどうか確認してください。異常があった場合は交換してください。 (P.33～各導子の説明を参照)
音が鳴らない。	音量の選択を 0(無音)にしていませんか？	音量の選択を 0(無音)にすると、操作音などは鳴りません。音量の設定を変更してください。 (P.24「本体設定」を参照)
操作できない。	ロックを選択していませんか？	ロックを選択していると、低周波の出力中は操作ができない機能があります。 (P.14「液晶表示について」を参照)

保証書

製品名	フィジオアクティブHV		
製造番号	78		N
お客様名	フリガナ		
電話番号			
お客様 ご住所	(〒 —)	都道 府県	
販売店名	(〒 —)		
ご購入日	年 月 日		
保証期間	ご購入日から1年間		

保証規定

- ご購入年月日から1年間といたします。
- 本治療器を構成する部分に発生した製造上の不具合のため、本治療器のご使用に差支えが生じ、弊社がそのことを確認したときは、無料で当該部品をお取り換え、または調整をいたします。
- 修理の場合は、必ず本証をご掲示ください。
- 本証は再発行いたしませんので、ご購入後は必要事項をお書込みの上、大切に保管してください。
- 本証は日本国内のみ有効です。 Effective Only Japan
- 保障期間内であっても次のような場合は有償修理となります。
 - 使用上の誤り(取扱説明書記載以外の使用)による故障または損傷
 - 不当な修理や改造による故障または損傷
 - 目的以外に使用された場合の故障または損傷
 - お買い上げ後の輸送、落下等による故障または損傷
 - 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障または損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷
 - 本証のご掲示がない場合
 - 本証にご購入年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 変質・変色・その他類似の事由
 - 消耗部品(本体以外の同梱品)の交換
- 「転居」などでご購入販売店での修理が受けられない場合は、下記製造販売業者・製造業者へご連絡ください。(保障期間内、お電話でご相談の上、着払いにて商品をお送りください。)
- 販売店印、購入年月日の記載がない場合は領収書をご提示ください。

※保証書にご記入頂いた個人情報(本治療器に関するご案内)のみに使用させていただきます。

販売業者



酒井医療株式会社

〒162-0801
東京都新宿区山吹町358-6
TEL : 03-5227-5771
FAX : 03-3260-0073

製造販売業者・製造業者



株式会社テクノリンク

〒956-0804
新潟県新潟市秋葉区荻島2-30-15
TEL : 0250-21-6251
FAX : 0250-24-2151